

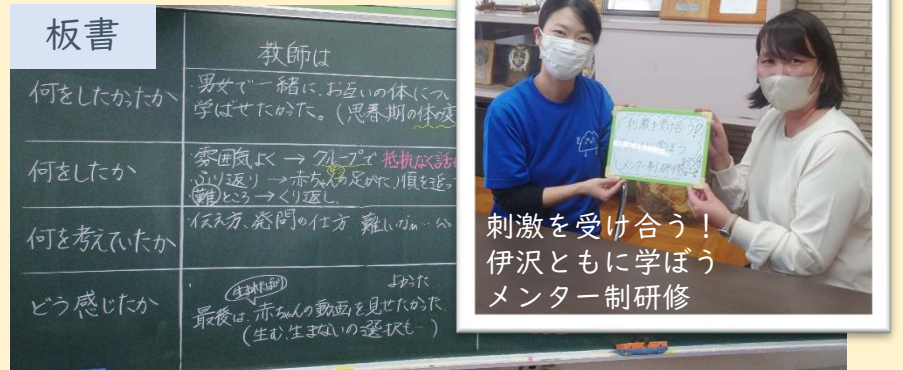
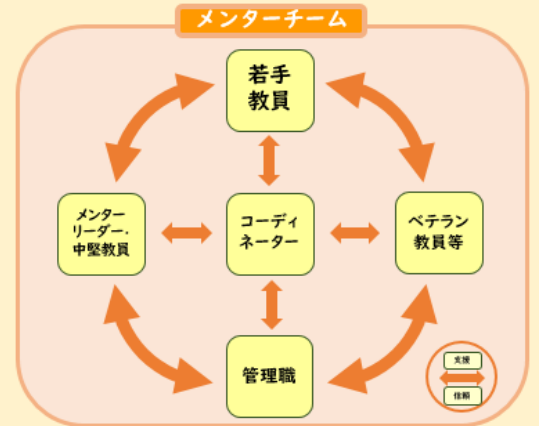
「伊沢ともに学ぼうメンターチーム」から はじまる「伊沢対話型授業研究会」の実践を通して 阿波市立伊沢小学校

「伊沢対話型授業研究会」とは

同じメンターチームの教職員が指導案の作成時から関わり、教材研究や授業構想をともに考え、授業研究会では、子どもと教師が「何をしたかったのか」「何をしたか」「何を考えたか」「どう感じたか」という4つの柱に沿って、主体的・対話的な協議を参加者全員で行う。

事例1：ジャンプアップ研修にて

養護教諭が4年生で保健の授業を実施。メンターチームで授業を考え、研究会でも自分の授業として話し合った。研究会が終わった後も参加者（管理職を含む）の話は続いており、管理職からも「みんなで授業（研究会）をつくっている感じがしてよかった。」という感想をいただいた。



事例2：研究授業及び対話型授業研究会の様子

県教育委員会学校訪問で実施した1年・3年の授業研究会では、指導主事等も一緒になってざっくばらんに対話型授業研究会を行い、参加者の力量形成を図った。

